



 第90号 ふれあいの里
〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771代

発行責任者：山本 博昭
編集：ふれあいの里広報委員会

<http://www.fureai-net.com/>

CONTENTS

- 1頁 卷頭言 坂本院長
- 2頁 介護発表会・エバーライフ加島祈願祭・健康講座会員募集
- 3頁 奈良東病院・エバーライフ
エバーライフ西大寺
- 4頁 地域医療連携室の業務・編集後記

院長就任に際し

高齢化率高い地域ニーズに応え 特性生かし近隣病院と連携

平成元年の奈良東病院開設当初よりお世話になり、その間ならふくじゅ荘施設長兼副院長を経て平成22年10月に病院長に就任いたしました。

開院当初は、「周りが田圃に囲まれた小高い丘の上にポツンと白い建物が一つ建っている」という状態で、アクセス道路も整備されておらず、窪之庄より村中を通る道のみであります。開院より3ヶ月ほどして近鉄奈良駅よりタクシーに乗る機会があったのですが「奈良東病院ってどこですか?」と聞かれるほどでした。

開院時は180床特例許可老人病院の認可でした。1病棟90床が2病棟、全職員あわせても50名程度のスタッフでスタートを切りました。

それから23年の間に、医療保険制度の改正・介護保険制度の導入があり「西館」「北館」の増築による増床、また病床類型の変更により、平成20年7月にリハビリテーション病棟を開設することにより、現在の一般（障害者）病棟1病棟42床、回復期リハビリテーション病棟1病棟50床、療養病棟2病棟84床、介護療養型医療施設2病棟84床という現在の「奈良東病院」となりました。

その間に老人保健施設・訪問看護ステーションの開設、社会福祉法人大和清寿会・株式会社ライフエールの設立により、特別養護老人ホーム・訪問介護ステーション・有料老人ホーム・高齢者専用住宅・ケアハウス・グループホーム等次々と施設や在宅サービスの拠点を開設し現在の「ふれあいの里」を形成するに至りました。

病院はその中核としての役割を担い、また高齢化率の



医療法人健和会
奈良東病院 院長
坂本 永

高い地域ニーズに応えて、他施設では対応困難な認知症や高齢者リハビリに重点を置くことにより、近隣にある高機能病院や急性期の大規模病院と、それぞれの特性を生かした連携を図ってまいりました。

今後も近隣診療所・病院とさらなる連携をとり、又地域に根ざした病院として「身内が安心して入院できる病院、利用できる施設」をモットーとし、患者様・利用者様中心のより良い医療・看護・介護を提供できるよう職員一同頑張っていこうと考えております。

今後も奈良東病院グループとして新たに有料老人ホーム・グループホームの開設を予定しております。ふれあいの里のさらなる発展には地域の皆様のご協力なしには不可能と考えております。これからもご支援・ご協力よろしくお願い致します。

この度の東北地方太平洋沖地震により被災された皆様とそのご家族様には心よりお見舞いを申しあげます。皆様の安全と一日も早い復興を心からお祈り申しあげます。

ふれあいの里では被災者の方々に対する義援金を各施設にて受付いたしております。義援金のご協力ををお願いいたします。

健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療・看護・介護を実践します。患者さんのADL（日常生活動作）改善とQOL（生活の質）向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療・看護・介護を提供できるように常に研鑽し探求する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

介護発表会**個別性に着目した発表多く
在宅での看取りに最優秀賞**

平成23年2月19日（土）に10回目となる介護発表会が行なわれました。

ふれあいの里では毎年秋に研究発表会、冬に介護発表会を行っています。

その介護発表会は、以前は介護体験発表会という名称で、介護の仕事を志した時の気持や介護の仕事に対する思いを発表していたものでしたが、昨年度から事例研究の発表に変更されています。また今回は発表の中から優秀な物を選び表彰することとなり、各部署張り切っての発表となりました。

毎回幅広い内容の発表がおこなわれていますが、今回も様々な内容での事例研究、事例報告がありました。患者様、利用者様へ向けてのアクティビティやレクリエーション的な関わり、精神的な関わりについての発表が多くありました。また部署での新人教育や経費についての取り組みの発表もありました。



その中で最優秀発表に選ばれたのは、訪問看護ステーションからの在宅での看取りについての発表でした。とても難しいテーマですが、真剣に考えること、寄り添って考えることの必要性をとても考えさせられた発表でした。

2番目は施設での看取り事例、3番目は個別のアクティビティについてでした。全体的に個別性に着目し検討した発表が多く、個別性の重要性を改めて感じました。

このような寄り添ったケアの事例を共有することで、お互いに切磋琢磨し更に良いケアが提供できるよう頑張りたいと考える良い機会になりました。

（教育委員会 橋本光司）

今年末の竣工、開設に向けエバーライフ加島の安全祈願

平成22年12月14日（火）、大阪市淀川区加島の建設予定地から程近い「香具波志神社」で、工事中の安全と開設後の繁栄を願い、エバーライフ加島の安全祈願祭がとりおこなわれました。香具波志神社宮司による祝詞奏上に続き、鉄村理事長らによる玉串奉奠があり、無事に安全祈願祭を終ることができました。

エバーライフ加島は今年末頃の竣工開設予定にむけ、現在順調に工事がすすめられています。既にオープンしている「エバーライフ御殿山」と同じ規模の介護付有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）に、定員30名のデイサービスが併設されます。

（広報委員会）

<施設概要>

場 所	大阪市淀川区加島3-12-11
構造規模	鉄筋コンクリート造5階建て 延床面積2910.18m ²
種 別	1階～5階 介護付有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）60室 1階の一部 通所介護（定員30名）

**ふれあいの里 健康講座友の会
楽しいイベント、会員を募集**

ふれあいの里では、「ふれあいの里健康講座友の会」の活動を行っています。年2回（春・秋）の健康バスツアーや、年1回の健康講座講演会を通して、皆様と一緒に健康増進のための知識を深めていくことを目的として活動しています。昨年度は、バスツアーとして宇陀市での大衆演劇の鑑賞（春）と、琵琶湖でのミシガン船遊覧と三井寺での昼食会（秋）、講演会として音楽療法士による「歌って体

操！」といった活動をさせていただきました。

今年度も昨年度以上に皆様に楽しんでいただけるよう、さまざまな催し物を考えていきます。入会金、年会費も無料（バスツアーについては要実費）です。会員の皆様には

「友の会」より各催し物のご案内を定期的にお送りさせていただきます。奈良東病院での受診の有無は問いません。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。一緒に健康増進に努めましょう。

入会申込・お問い合わせは「奈良東病院 受付 藤村」（TEL0743-65-1771）までお願いいたします。

（ふれあいの里健康講座友の会 藤村厚志）

■ふれあいの里 総合相談窓口

月曜日～日曜日AM9:00～PM5:00※年末年始(12/30～1/3)を除く

〒632-0001 奈良県天理市中之庄町510-2

TEL.0743-65-5141/FAX.0743-68-4100

地域社会に貢献する 奈良東病院 療養環境にすぐれた安心の医療

元気いっぱい小さな訪問者に患者様、感激で元気もらう

西館2階病棟では、毎年カレス保育園から園児たちが25人ほど来院され、演劇やダンスを披露していただいています。今年は寒さが厳しく雪が降る日が続いていたので、当日の2月15日（火）が来院出来るか不安でしたが、何とかお天気も晴れて雪も解けたため、無事に来てもらう事ができました。

園児たちが来院すると、前日から楽しみにされていた患者様から、「よう来たなあ。」などのお声がかけられ、普段見られないような患者様の笑顔を見ることができました。園児たちは緊張していた様子でしたが、大きな声で元気いっぱい演技してくれたおかげで、いつもの職員が行っているレクリエーションの時とは違い、多くの患者様が園児たちの演劇を集中して鑑賞していました。

西館2階病棟の患者様は認知症で、普段は言葉少なく表情にも現れにくいのですが、演劇が終わる時には感激され、涙ぐむ患者様もおられて大きな拍手を送っていました。

患者様の中には起きているのがやっとの方も居られまし

たが、園児たちに元気を貰った様子でベッド上で拍手されていました。演劇が終わつた後も記念品贈呈やお礼の言葉を述べられましたが、いつもと違いしっかり立てはっきりとした言葉でお話をされていました。

年に1度だけの交流会なのですが、患者様の中には久しぶりに小さ



なお子さんをご覧になって喜ばれている方や、お孫さんのことを思い出し、話をされてもらい泣きしている方もいて、30分ほどの時間でしたが大変有意義な時間でした。

また園児たちの元気いっぱいの姿を見ていると患者様のみならず、職員にも癒しになり、元気を貰いました。ぜひ来年以降も続けて子供たちの元気いっぱいの姿を拝見したいと思います。

(西館2F 藤原 則之)

有料老人ホーム エバーライフ 未来に夢はせて 華やぐ生活

節分行事に新アイデアも「豆つかみ」ゲームに拍手

エバーライフでは、四季を通じて入居者の方々といろいろな行事を楽しんでいます。この2月3日（木）の節分には、豆を使ったゲームと豆まきを行いました。

会場の1階食堂には、一般居室と介護居室の方合わせて約70名参加頂きました。まず、「豆つかみゲーム」と題して片手で設定の30グラムをつかんでもらうというゲームから開始です。ただし、30グラムを超えると失格という説明があります。1位から10位までの景品の紹介と参加賞も用意されて、ゲームが進んでいきます。つかんだ豆をカップに入れて計量し、一人ずつの重さが発表されていきます。30グラムに近い数値がでると拍手がおこり、ピッタリ30グラムが出たときは最高に盛り上がりしました。1位から10位までの景品はそれぞれ好きなものを選んで頂くようにしましたが、なかなか好評でした。

そうして、いよいよメインの豆まきが始まります。司会者

から「さあ、いよいよ鬼がやって来ますよ。皆さん、豆を手に持って下さい。準備はよろしいですか。豆をまいて、邪気を払って福を呼び込みましょう。」との声で、皆さんのが手に



手に豆を持ち、鬼の登場を待ちます。すると会場の後ろのほうから、2匹の鬼が登場し、みんなの中を走り回り、たくさんの豆の雨を浴びせられ退散していきました。

皆さんも思いっきり豆をまき、楽しんでおられたようでした。日本各地で伝統芸能や祭りが復活している昨今、エバーライフでも、四季折々皆さんと共に喜んでいただける行事を企画していきたいと考えております。

(エバーライフ 森本晃司)

有料老人ホーム エバーライフ西大寺 未来に夢はせて 華やぐ生活

大和郡山の盆梅展を鑑賞 樹齢120年の梅に共感も

大和地方に春を呼ぶイベント「大和郡山盆梅展」、郡山城の櫓という厳かな雰囲気の中、風雪に耐えて咲いた梅の花。そんな盆梅を去る3月7日（月）に入居者さんと一緒に

鑑賞してきました。

当日は朝から、あいにくの雨でしたが、出発時間にはその雨も上がり順調な滑り出しました。車内では賑やかにお話も盛り上がり、20分の移動時間もあつという間でした。

会場である、郡山城址追手門、追手向櫓多聞櫓に入ると、皆さんそれぞれ好みの梅を見つけては立ち止まって、

見入っていました。中には樹齢120年というものもあり、「私よりも随分と年をとっているな」とユニークな感心をしている方もいらっしゃいました。

少し段差のある場所もありましたが、皆さん手を取り合

って助け合いながら、賑やかな内に鑑賞を終えました。紅梅白梅の前で記念撮影をし、入居者の皆さんにはこちらの予想以上に楽しんでいただけた様子でした。

(エバーライフ西大寺 上西省司)

地域医療連携室の業務の基本

援助でなく患者様ご家族と歩む

みなさんMSW（医療ソーシャルワーカー）の名前をどこで聞いたことがあるでしょうか？大きく私たちの仕事を説明させて頂くと医療や保健分野で働く専門職です。私たちは、奈良東病院のMSWとして日々奮闘しています。

もし、自分や大切な人が病気になるとさまざまな不安や問題が起ります。入院費用や生活費などの経済的な問題から始まり、障がいが残ったり寝たきりになった場合、この先どのように生活をしていけばいいのか、病院を探すのか、それとも施設を探していくのか、在宅に戻るためにはどのようなサービスを使えるのかなど、本当に様々なことを考えいかなければいけません。そんなとき、誰に何を相談していけばいいのか・・・

●ご希望をサービスにつなぐ

そのような場合、私たちの出番になります。私たちが心掛けていることはしっかりと患者様・家族様と向き合うということです。相談に来られた方、入院されている方の話をじっくり聞きしっかりと受け止め問題の整理を行います。問題が明確になれば、いろいろな制度・サービスへつなげるお手伝いをします。関係機関への連絡、紹介、話し合いを何度も重ねて患者様・家族様の希望に出来るだけ添うように支援していきます。そのため、家族様と何度も面談を重ねさせて頂きます。電話での相談はもちろんですが、家族様のお顔を拝見しながらお話をさせて頂くことで、家族様の表情1つ1つを見て不安や悩みはないか、お気持ちを汲み取るよう努めています。

また、患者様・家族様にフレッシュな情報で話を進めていけるように他職種との連携は、とても重要視しています。主治医・看護師・介護士・セラピストなど各担当者に相談し、情報を収集しています。

そして、患者様・家族様により良い情報を提供できるよ



うに日々勉強しています。知識を増やすだけではなく、わかりやすく伝えるために知識を整理することにも努めています。

●人と人との繋がりを大切に

また、業務内容としては、本当に多岐に渡ります。日頃から他の病院やケアマネージャーさん等と情報交換や交流を深めたり、悩みや相談などの電話を受ければ、迅速に対応できるように取り組んでおります。そのため、私たちMSWは、日々病院内外を動き回っていることが多く気が付けば、『あれ？もう夕方だ。』という日も少なくありません。時には、私たち自身も仕事でいろいろ悩んだり、疲れることもあります。しかし、この仕事を続けるにあたって、私自身いつも心にずっと思っていることがあります。それは、私たちは『援助』をしているのではないということです。たくさんの患者様・家族様に出会う中で、その方たちと一緒に歩んで、一緒に悩みや不安を解決していくんだという気持ちです。患者様・家族様から声をかけていただく一言で、心が温かくなったり、自分自身成長させて頂いています。これからも、人と人との繋がりを大切に仕事に励んでいきたいと思います。何かございましたら、お気軽にご相談ください。

(奈良東病院 地域医療連携室 内田 沙弥)

奈良東病院 外来担当医					
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	
午前	坂本 (内科)	吳 (内科)	原 (神経内科)*	清家 (内科)	長田 (内科)
	鉄村 (整形外科)	高田 (内科)	坂本 (内科)	林 (皮膚科)	森竹 (整形外科)
午後		田村 (内科) ※13:30～ 予約診のみ	担当医 (内科)		

受付時間 午前診 9:00～11:30 (月～金)
午後診 13:00～15:00 (火・水)

医療法人 健和会 奈良東病院 ☎632-0001 天理市中之庄町470
TEL 0743-65-1771

*水曜日午前の神経内科の受診については初診のみ予約診となります。初診の方は事前にお電話等でご予約ください。

編集後記

広報委員をさせていただいて、はや一年。この間、今年度中に新規オープンする2施設（エバーライフ香芝、エバーライフ加島、響きが似ていてちょっとややこしい）の紹介をさせていただくことができました。次号以降でそれらの開設の模様をお伝えすることができるかと思います。巻頭坂本新病院長の話にもありますが、この「ふれあいの里」の中核である奈良東病院院長より数えて23年目、これからもどんどん進化拡大をつづけていく組織の一員として努力を怠らず、そして初心を忘れずに頑張っていきたいと思います。

あっといえば、「ふれあい第87号」で紹介したふれあいの里内に咲く緑色の桜「御衣黄」、4月半ば頃が開花の時期だそうです。まだご覧になっていない方、今年は注意してじっくり見てください。

文末になりますが、東北地方太平洋沖地震により被災された皆様に心よりお見舞い申しあげます。何もできませんが遠くから、皆様の安全と平穏な生活が一日でも早く取り戻せるよう心よりお祈りいたします。

(広報委員長 森本真司)

